



浜松市

平成23年度 外部評価資料

資料番号	事業名	所管課
1-4	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課

事業シート3

課コード: 000625000
 担当組織: スポーツ振興課

作成日: 平成23年5月30日
 責任者: 貴田直樹

基本政策	課	政策	目	事業
計画コード 03	02	0123	01	012303

款	項	目	事項
予算コード 06	27	05	16

款	項	目	事項

事業名: 生涯スポーツ振興事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	22年度	23年度	比較
	94,616	85,157	△ 9,459		1.0	1.0	0.0
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	4,048	65,459	12,000		871		2,779

◆事業の目的

市民がいつでもどこでも気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、「1・1・1運動」の推進と「するスポーツ」の振興を図る。

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

- 【地域スポーツ大会開催事業】
○市民スポーツ祭などの開催。
- 【体育指導委員等活動支援事業】
○体育指導委員255名の資質向上のために行う研修会などへの支援。
- 【総合型地域スポーツクラブの育成事業】
○既存の総合型地域スポーツクラブ及び新規設立を希望する団体への相談及び支援。
- 【体育振興会等地域スポーツ普及事業】
○小学校区単位で設立された体育振興会や体育協会支部が行う地域での体育活動への支援。
- 【レクリエーション普及事業】
○レクリエーションの普及、振興を図るため実施する各種目のレクリエーション事業への支援。
- 【小中学校スポーツ施設開放事業】
○社会体育振興のため、小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放する。
- 【小中学校スポーツ施設夜間照明等整備事業】
○小中学校スポーツ施設開放事業を充実させるため、小中学校のグラウンドの夜間照明等の整備を行う。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

- 【地域スポーツ大会開催事業】
○44競技団体20, 219人が参加し、市民スポーツ祭などを開催した。
- 【体育指導委員等活動支援事業】
○体育指導委員257名を委嘱し、延べ8回の研修会やスポーツイベントを開催し、延べ713人の体育指導委員が参加した。
- 【総合型地域スポーツクラブの育成事業】
○新規設立を希望する1団体への相談などの支援を行った。
- 【体育振興会等地域スポーツ普及事業】
○65の体育振興会及び体育協会各支部が各地域で行う体育活動に対して支援を行った。
- 【レクリエーション普及事業】
○15種目のレクリエーション団体が行うレクリエーション事業の普及、振興の支援を行った。24回、3,452人が参加した。
- 【小中学校スポーツ施設開放事業】
○小中学校の、体育館、グラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放して、社会体育の振興を図った。延べ1,796,010人が利用した。
- 【小中学校スポーツ施設夜間照明等整備事業】
○砂丘小学校夜間照明設備増設工事を実施した。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
平成 * 19 年	年	自治事務	スポーツ振興法					
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計	重点戦略					○	○	○
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
○	*H20は事業仕分け	○						

(単位:千円)

		H22	H23	H24計画	H25計画	H26計画	H23~26計
事業費	予算	94,616	85,157	85,157	85,157	85,157	340,628
	決算	83,113					0
財源内訳	国・県支出金	14,000					0
	市債						0
	その他	28,751	28,171	28,171	28,171	28,171	112,684
	一般財源	40,362	56,986	56,986	56,986	56,986	227,944
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)							0
人件費		8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	32,000
内訳	人工(正規)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	—
	人工(非常勤)						—
	人工(再任用)						—
年間経費(事業費+人件費)		102,616	93,157	93,157	93,157	93,157	372,628

成果指標1 年間学校開放施設利用者数

種類	アウトプット(活動指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	千人	1,765	1,797	1,798	1,799	1,780
	実績	千人	1,796				

成果指標2 スポーツに親しみやすい環境についての満足度

種類	アウトカム(成果指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	%	28	31	34	37	40
	実績	%	27.3				

◆事業の成果(平成22年度末時点での目的の実現状況 ※活動ではなく状態)

【地域スポーツ大会開催事業】

○広く市民にスポーツ大会の参加機会を提供することができている。

【体育指導委員等活動支援事業】

○実技研修会の開催や講演会の参加などにより、体育指導委員の資質向上が図られている。

【総合型地域スポーツクラブ育成事業】

○新規設立の相談があった地区へ説明会を行い、設立準備が進められている。

【体育振興会等地域スポーツ振興事業】

○各地域ごとに独自のスポーツイベントを開催し、地域スポーツの普及が図られている。

【小中学校スポーツ施設開放事業】

○学校スポーツ施設が有効利用され、地域住民のスポーツ振興が図られている。

◆評価(平成22年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(理由)

市民が気軽にスポーツを親しむ場を提供するために、必要な事業である。

(2) 実施主体: 市

(理由)

スポーツ振興法で、地方公共団体は、ひろく住民が参加できるような運動会、競技会、スポーツ教室等のスポーツ行事を実施するよう努めるとされている。また、学校施設の利用(学校開放)や体育指導委員の委嘱についても地方公共団体の業務とされている。

(3) 選択と集中 現状

(理由)

できる限り多くの人に参加してもらうためには、数多くの機会を提供する場が必要であり、資源を集中することは、参加機会を減少させることにつながる。

(4) 改善: 改善なし

(理由)

地域ごとに地域の特色をもったスポーツイベントが開催できている。

今後の方向性 現状

市民が地域でのスポーツ活動を行う場が必要であるため。

◆改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成23年度予算で反映したものを含む)

行政経営計画では、(財)浜松市体育協会の運営体制の見直しということで、進行管理がされている。

①行政経営計画 No.11012 【(財)浜松市体育協会の運営体制の見直し】

- ・職員の資質向上と専門性の強化については、平成22年度までに体育施設管理士の資格を13名、トレーニング指導士の資格を5名、体育施設運営士の資格を5名取得し、プロパー職員を増やすことで、スポーツの指導と普及が図られた。

②行政経営計画 No.11013 【(財)浜松市体育協会の運営体制の見直し(市民協働)】

- ・スポーツ教室への参加市民に教室運営の計画づくりや講師役を依頼するなど市民協働の展開については、22年度に128教室を開催し、その内120教室へ市民ボランティアが参加した。(参加率94%)

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

①行政経営計画 No.11012 【(財)浜松市体育協会の運営体制の見直し】

- ・平成18年度に体育協会が策定した経営健全化5か年計画に基づき、スポーツの指導と普及を一層進め、職員の資質向上と専門性を強化するため、平成24年度までに体育施設管理士15名、体育施設運営士6名、トレーニング指導士7名の資格を取得する。また、平成20年12月に施行された公益法人制度改革に伴い、調査検討をし、平成24年度までに新公益法人への移行に併せ役員数の削減をする。

②行政経営計画 No.11013 【(財)浜松市体育協会の運営体制の見直し(市民協働)】

- ・平成18年度に体育協会が策定した経営健全化5か年計画に基づき、スポーツ教室への参加市民に教室運営の計画づくりや講師役を依頼するなど市民協働を展開する。ボランティアを活用し、市民協働を進め、平成23年度までにスポーツ教室への市民ボランティアの参加率を100%とする。

補足シート3-①

	款	項	目	事項	
予算コード	06	27	05	16	11

事業名：地域スポーツ大会開催事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	6,580	6,580	0					○
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
		6,310			270		0	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

【市民スポーツ祭】

47の競技団体が年間を通して年齢別、種目別の大会を開催する。

【ビーチフットボール第8回東海大会】

浜松地域や県内外から幅広い年齢層の参加者や観客が集まるビーチフットボール第8回東海大会(浜名湖舞阪)開催会場に、休憩所や仮設トイレを設置し、来場者の利便を図るとともに、地域との共存を図り、海浜地の健全利用の促進と地域のスポーツ振興を推進する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうなったか)

【市民スポーツ祭】

市民の誰もが出場でき、幅広い競技が開催されているため、スポーツ人口の拡大を図ることができ、市民の健康、体力の保持増進に効果を発揮した。(財)浜松市体育協会の加盟団体46団体のうち、44種目で大会を実施、合計で20,219人(男性:14,186人、女性:6,033人/一般:6,558人、小学生から高校生:13,661人)の参加者があった。

【ビーチフットボール第7回東海大会】

大会には46チームが参加し、熱戦が繰り広げられた。選手、役員、来場者を合計して1,900人の参加があった。

補足シート3-②

	款	項	目	事項	
予算コード	06	27	05	16	16

事業名：体育指導委員等活動支援事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	4,040	2,542	△ 1,498					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	449	240			401		1,452	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

- ・研修会の開催
- ・スポーツ安全保険の加入
- ・県体育指導委員連絡協議会への負担金
- ・活動のための被服購入

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうなったか)

平成22年度は257人の体育指導委員が委嘱され、地域スポーツ振興のリーダーとして、自主研修会の開催や県、東海、全国で行われる研究大会への参加や各種スポーツイベントの支援を行うことで、資質向上を図ることができた。浜松市体指連実技研修会に123人、静岡県体指連実技研修会に104人、研究大会に70人、東海四県研究大会に38人、全国体指研究協議会に8人参加した。さらに、浜松シティマラソン走路安全員として152人、浜松市民健康体力づくり中央大会役員として87人、浜松市民レクリエーション・スポーツ大会に審判として131人を動員するなど、大勢の体育指導委員の協力を得て、イベントが盛大に開催され、成功に貢献することができた。また、体育指導委員の活動がより活発になるようスポーツ健康保険の加入や被服購入を行なった。

補足シート3-③

	款	項	目	事項	
予算コード	06	27	05	16	21

事業名：総合型地域スポーツクラブ育成事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	154	354	200				○	
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	65				200		89	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

○総合型地域スポーツクラブの運営が行政からの支援に過度に依存することは適当ではないが、クラブの自立的な運営を損なうことがない範囲において、スポーツ振興くじなどの助成金、浜松市総合型地域スポーツクラブ育成事業費補助金を活用することは、クラブの活動にとって望ましいと考えられるため、情報提供や助言などの支援を引き続き行っていく。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうだったか)

○(仮称)龍西スポーツクラブから設立の相談があり、平成23年度スポーツ振興くじ助成事業総合型地域スポーツクラブ創設支援事業の申請について支援を行った。平成24年度の設立を目指している。

※総合型地域スポーツクラブは、文部科学省の「スポーツ振興基本計画」の中で、地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの育成が生涯スポーツ社会を実現する上で重要施策としている。浜松市では9つのクラブが活動している。

補足シート3-④

	款	項	目	事項	
予算コード	06	27	05	16	26

事業名：体育振興会等地域スポーツ普及事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	17,000	17,000	0					○
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
		17,000					0	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

○65小学校区単位の体育振興会が中心となり、地域の実態に応じて校区体育大会や球技大会などのスポーツ行事を実施する。
○体育協会の各支部が中心となり、地域におけるスポーツ行事を実施し、地域スポーツの振興を図る。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうだったか)

○地域住民が組織する体育振興会がスポーツ行事を実施することで、市民の体力向上や健康の保持増進、地域コミュニティの醸成にも効果があった。取り組んでいる種目は、主なものとして、バレーボール(51校区)、ソフトボール(50校区)、グラウンド・ゴルフ(42校区)、町民運動会(39校区)、軽スポーツ・レクリエーションスポーツ(30校区)、ファミリー・バドミントン(29校区)、スーパードッジ(22校区)、歩け歩け大会・ウォーキング(21校区)、球技大会(20校区)などで、それ以外も含め、延べ222,047人が参加した。
○体育協会各支部が、各種スポーツ大会やスポーツ教室を開催し地域スポーツの振興を図り、延べ18,507人が参加した。

補足シート3-⑤

	款	項	目	事項	
予算コード	06	27	05	16	31

事業名：レクリエーション普及事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	1,207	1,060	△ 147					○
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
		1,060						0

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

・レクリエーションの普及、振興を図るため、サイクリング、スクエアダンス、オリエンテーリング、ゴムバレー等16種目のレクリエーション普及事業を実施する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

・レクリエーション愛好者は子どもや高齢者に多く、レクリエーションの普及事業により、子どもの運動離れ抑止や高齢者の健康増進に効果があった。平成22年度は、レクリエーション協会に登録する15種目団体の全てが、合計24回の活動を行った。特に参加者が多い日本民謡(1,250人)、ラジオ体操(900人)、フォークダンス(251人)などをはじめ、のべ3,452人の参加があった。

補足シート3-⑥

	款	項	目	事項	
予算コード	06	27	05	16	41

事業名：小中学校スポーツ施設開放事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	44,635	44,086	△ 549			○		
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	3,534	39,714					838	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

【小中学校スポーツ施設開放事業】 ※対象は、浜松市在住・在勤者。
○各小中学校ごとに、学校、自治会、体育振興会、体育指導委員、スポーツ団体の代表者等で組織するスポーツ施設利用委員会に委託し、体育館、グラウンド、柔剣道場などのスポーツ施設の利用調整を行う。利用は夜間と土日祝日で、夜間は照明料を利用者から徴収する。
【小学校プール開放事業】 ※対象は、開放実施校の児童。
○希望する小学校37校のスポーツ施設利用運営委員会に委託し、7・8月の2ヶ月間の内、上限8日間プール開放を実施する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

【小中学校スポーツ施設開放事業】
○学校教育活動に支障のない範囲で、体育館やグラウンドなどの学校スポーツ施設を開放し、地域住民が気軽にスポーツを実施することができた。
(実績)22年度:合計 1,796,010人・・・グラウンド123校 696,616人 体育館146校 1,040,834人 柔剣道場15校 54,349人 テニスコート1校 1,320人 卓球室2校 2,891人
【小学校プール開放事業】
○小学校のプールを夏休みの児童に開放し、その健全育成及び健康の維持増進を図ることができた。(実績)22年度:開放校37校 23,716人

補足シート3-⑦

	款	項	目	事項
予算コード	06	27	05	16 46

事業名：小中学校スポーツ施設夜間照明等整備事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	21,000	13,535	△ 7,465					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
		1,135	12,000				400	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

○小中学校スポーツ施設開放事業を充実するために、小中学校のグラウンド等の夜間照明設備の設置や修繕を実施する。

委託費(設計)1,135千円 蒲小学校防球ネット設置工事設計業務、管理業務

整備工事 2,000千円 各小中学校グラウンド夜間照明修繕工事

工事費 10,000千円 蒲小学校防球ネット設置工事(8,200)、北区15校の照明灯リード線等修繕工事(1,800)

備品 400千円 学校開放用物置

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうなったか)

○砂丘小学校グラウンドに夜間照明設備2基を増設した。

砂丘小学校区体育振興会から「ソフトボールに対応した照明配置のため、サッカー利用には適していなく当地区はサッカーの利用度が極めて高いため、夜間照明2基増設を望む」との要望書が提出された。

※砂丘小グラウンドの夜間利用状況…サッカー5団体、145名/週。

増設前の照度(4基)…ソフトボール場119[lx] サッカー場 89[lx]

増設後の照度(6基)…ソフトボール場173[lx] サッカー場157[lx]

論点シート

事業番号	1 - 4	事業名	生涯スポーツ振興事業
部局	生活文化部	所管課	スポーツ振興課
H23 予算	85,157 千円	所管課	現状
H22 予算	94,616 千円	一次評価	
評価対象事業についての論点等			
<p>《体育振興会等地域スポーツ普及事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるスポーツ行事は、市が体育振興会や体育協会支部等へ委託して実施すべき事業か、参加者の人数は、委託料の内訳は、内容や成果に対して妥当な額か ・各地域への資金の流れは適切か ・既成のシステムが出来上がっており、大きく見直すことが難しく、新たに推奨している総合型地域スポーツクラブが育たないことになっていないか ・公民館や健康増進などで類似事業がないか ・参加者会費と委託料のバランスは適正か ・民間のスポンサーが考えられないか 			
評価対象事業についての二次評価			
<p>【改善（その他）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育振興会等地域スポーツ普及事業の市民の参加数を把握すべき ・地域におけるスポーツ行事は、市が主体となって委託事業として実施する必要があるか検証すべき ・多くの人が生涯スポーツに参加できるシステムの抜本的な見直しを検討すべき ・類似の事業があれば整理すべき 			